



## ご挨拶

大会会長  
NPO法人日本剣道協会

工藤善己

第42回全国少年少女剣道優勝大会並びに第39回全国高校生剣道優勝大会が、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、ここ長野県立武道館において開催されますことに、実行委員会並びに大会関係者の皆様に対し心より感謝と御礼を申し上げます。また、今大会に参加されました選手の指導者の先生方・保護者の皆様、コロナ禍でまだ収束していない不安な環境の中、引率していただいた事に御礼申し上げます。

本大会を開催するにあたり、「中止」か「開催」かいろいろな意見がありましたが、このコロナ禍においてスタッフの英知を結集して開催できる手立てを考案してまいりました。「陽性者」がいることを想定して、大会要項に感染対策方法を記載しております。熟読していただいたと思いますが、大会での感染対策ルールを厳守していただきたく、節をお願いいたします。

さて今年は、コロナ禍において世界的なスポーツの祭典である東京オリンピック競技大会が7月23日の開会式に始まり前代未聞の無観客有観客での開催となり、本日8月8日の閉会式を迎えようとしております。盛り上がりは今一つの大会であったかもしれませんが、選手にとって日本でのオリンピック出場は、一生の宝になる事でしょう、全選手にエールを送りたいと思います。

そしてここにいる選手諸君も、今日の大会に向け計画的に稽古をかさねて来たと思います。相手に感謝の気持ちを忘れずに、練習の成果を十分発揮できますよう願っております。善戦健闘を祈ります！

最後になりましたが、選手の保護者の皆様を始め多くの関係者の皆様、日頃から剣道の普及発展にご尽力をたまわり誠にありがとうございます。皆様方のますますのご繁栄と青少年の健全な育成が推進されますようご祈念いたしまして、大会のご挨拶といたします。

令和3年8月